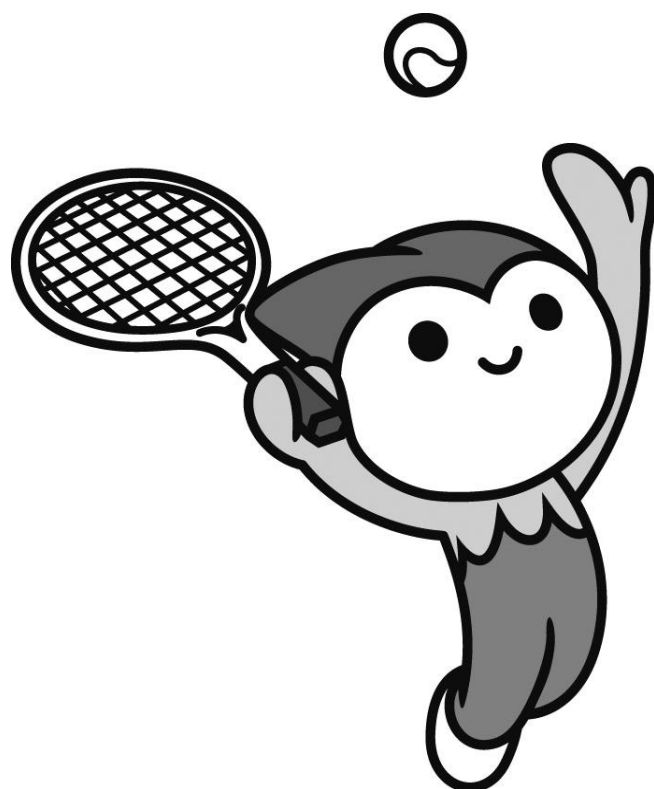


2026年度  
U10グリーンボール全国大会 山口県予選



主催 山口県テニス協会  
主管 山口県ジュニア委員会  
会期 令和8年4月29日(水:祝)  
会場 維新百年記念公園テニス場

## 大会日程

日時	種 目	試合会場	試合開始
4月29日(水)	男子シングルス	維新百年記念公園 テニス場	9:00
	女子シングルス		

★ 受付はかならず8時30分までに行ってください。 ★

## 大会役員

ディレクター 川武 郷  
レフェリー 古屋 伸之  
進行 山口県ジュニア委員

## 諸注意・連絡事項

1. 試合方法	本戦、3位決定戦	1セットマッチ(6-6タイブレーク)
	コンソレーション(初戦敗者のみ:1回限り)	6ゲーム先取(ノーアド)

※サービスノーレットルールではありません。

※初戦敗者同士のコンソレーション(1回限り)を行います。

※天候、その他の事情により、試合方法を変更することがあります。

### 2. 試合前の練習はサービス4本とします。

- 遅刻に対するペナルティーなど、その他のルールはJTAルールを採用します。
- 試合はセルフジャッジです。サーバーはポイントやゲームのコールを相手に聞こえるように大きな声でして下さい。
- 選手は進行板に注意して、前の試合が終わったら直ちにコートに入って試合を行って下さい。
- 試合終了後、勝者は速やかにボールと進行板に貼ってある自分のカードを本部に届けて下さい。
- 開会式は行いません。受付は各選手が届けてください。
- 雨天などにより試合の有無が不明な場合でも、定刻には会場に集合して下さい。
- コートの外からアドバイスやジャッジに関する抗議等を一切禁止します。  
選手はジュニアらしい態度で試合に臨むこと。
- 体調の悪い場合は無理して試合をやらずに勇気を持って棄権して下さい。
- 練習コートは各選手交代で練習して下さい。(8:00~8:25 / 8:25~8:45)  
各コートのシングルスティック、スコアボードを倉庫から出して練習を始めて下さい。

### 12. ごみは必ず各自で持ち帰ること。

## 観客のみなさんへ・・・お願い

- ラインジャッジ等の判定に関して、口出しすることをお控え下さい。
- 好プレーに対しては、相手選手を問わず拍手をお願いします。
- 逆に、いずれのプレイヤーのエラーに対する拍手はご遠慮下さい。

・中国大会 7月11日～12日 広島(三次) 出場枠 3名+α  
・全国大会 11月12日～15日 宮崎 出場枠 1名  
(Japan U10 Tennis Tournament 地域代表個人戦) (ひなた総合運動公園テニスコート)

# U10グリーンボール全国大会 山口県予選 仮ドロー

## 男子シングルス

維新百年記念公園テニス場  
2026.4/29

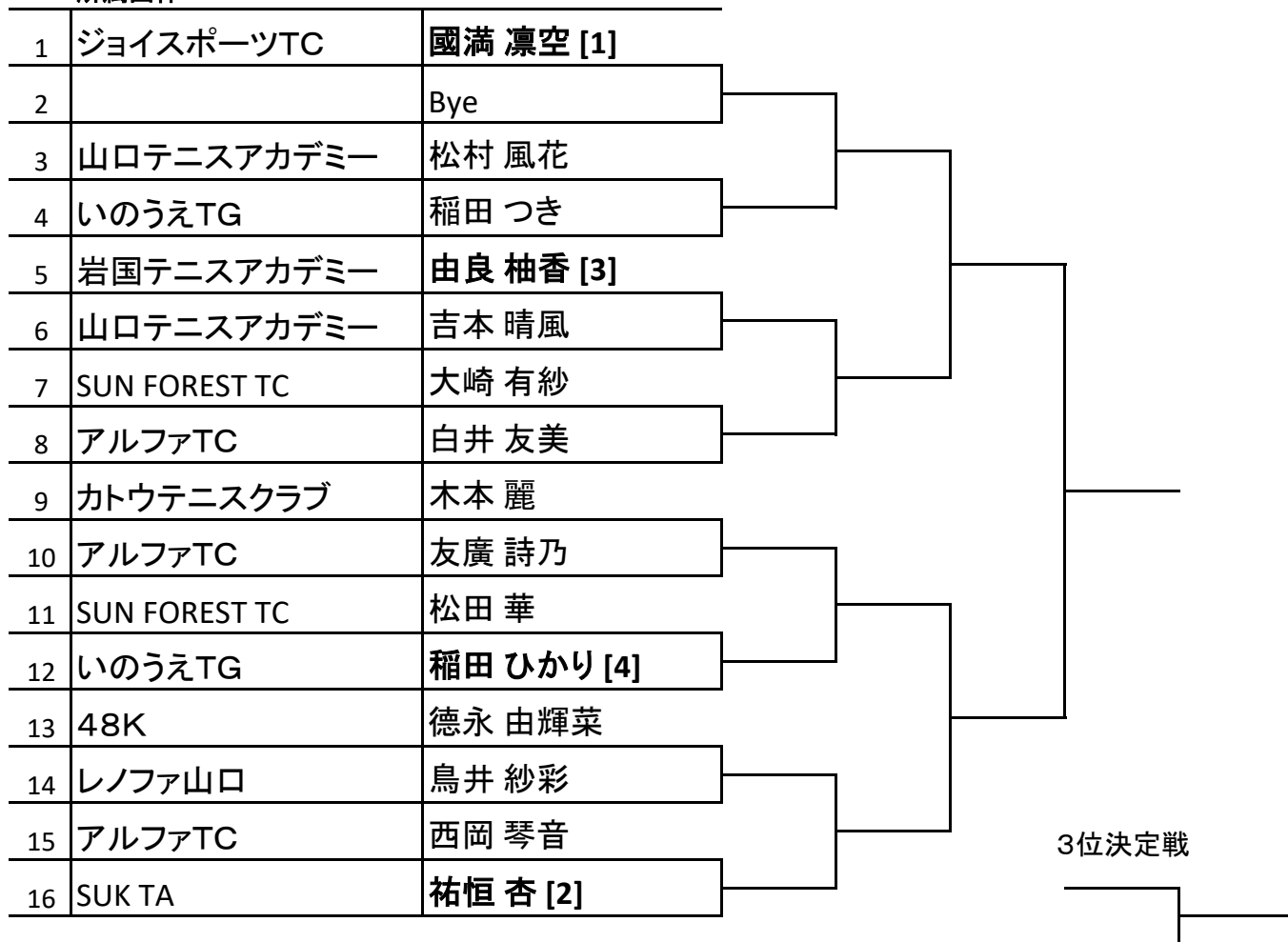
所属団体		
1	カトウテニスクラブ	島崎 弘大 [1]
2		Bye
3	レノファ山口	小嶋 道晴
4	48K	近藤 至
5	アルファTC	長峯 一喜
6		Bye
7		Bye
8	山口サングリーンTC	原口 夏向
9	ミズノTS	山本 久登 [4]
10		Bye
11		Bye
12	レノファ山口	上田 慶太
13	カトウテニスクラブ	松谷 奏汰
14		Bye
15		Bye
16	SUK TA	福田 橙矢
17	山口サングリーンTC	高松 護
18		Bye
19		Bye
20	レノファ山口	河添 大翔
21	アルファTC	沼 咲太郎
22	SUK TA	祐恒 一喜
23		Bye
24	カトウテニスクラブ	加藤 航己 [3]
25	SUN FOREST TC	尾山 玄多
26		Bye
27		Bye
28	カトウテニスクラブ	吉村 健
29	アルファTC	大北 康生
30	レノファ山口	藤村 怜平
31		Bye
32	山口テニスアカデミー	近森 咲太 [2]

# U10グリーンボール全国大会 山口県予選 仮ドロー


## 女子シングルス

維新百年記念公園テニスコ  
2026.4/29

所属団体



ジュニアテニス選手皆様へ  
一般・ベテランテニス選手の皆様へ  
指導者・保護者の皆様へ  
大会主催者の皆様へ

 公益財団法人日本テニス協会

# テニス競技での セルフジャッジ5原則の 順守と推進のお願い



フェアプレイはスポーツの基本です。テニスも例外ではありません。それは、第一に対戦相手をレスペクトしてプレイすることです。

残念ながら、コート内では依然様々なトラブルが絶えません。その大半はポイントの判定に起因するもので、多くのテニス大会で採用されている「チェアアンパイアがつかない試合方法（セルフジャッジ）」が適切に行われていないことが背景にあると思われます。

そこで日本テニス協会は、プレイヤーの皆様、保護者、指導者そして大会主催者の皆様に、チェアアンパイアがつかない大会で正しいセルフジャッジを目指し、次のセルフジャッジ5原則の徹底とご理解をお願いすることとしました。

セルフジャッジでは、プレイヤーの人格が試されています。



## セルフジャッジ5原則

- 1 判定が難しい場合は「グッド」（相手に有利に）！
- 2 「アウト」または「フォールト」はボールとラインの間に、はっきりと空間が見えたとき！
- 3 サーバーはサーブを打つ前、レシーバーに聞こえる声でスコアをアナウンス！
- 4 ジャッジコールは、相手に聞こえる声と、相手に見えるハンドシグナルを使って速やかに！
- 5 コートの外の人、セルフジャッジへの口出しはしない！



保護者の皆様には、目前の試合の勝ち負けに一喜一憂することなく、スポーツマンシップに則ったフェアな試合がおこなわれるように、お子様への温かいご支援よろしく申し上げます。